

キャップハンディ体験



1 活動のねらい

ハンディキャップのある人々に対する理解を深めると同時に、介助の方法を学ぶことができます。地域の中でともに生きることができる社会を実現しようとする意欲と態度を育成します。

2 活動の概要

(1) 車イス（10台）

2人1組となり、1人は車イスに乗り、もう1人が介助者となり、コースを1周します。

3人1組の場合、3人目は観察者となり、気が付いた点を他の2人に伝えます。

(2) 目かくし歩行（白杖50セット）

2人1組となり、1人はアイマスクと白杖を使って体験者となり、もう1人が介助者となります。介助者は自分のひじや肩を体験者につかませ、半歩前を歩き、コースを1周します。

(3) 点字

点字の歴史や読み方を学び、簡易点字器で点字を書く体験をします。

(4) 手話

手話による簡単な挨拶や会話を学びます。

3 人数・対象・時間・場所

活動の種類	人数	対象	活動時間	期間	場所
車イス	30人以内	小学4年生以上	1時間	通年	交流の家 (屋内・屋外)
目かくし歩行	100人以内		1時間		
点字	50人以内	中学生以上	1.5時間		交流の家研修室
手話	100人以内				

※人数、活動時間についてはご相談ください。

4 準備する物

区分	内容
個人	・マスク ・タオル（白杖体験の目隠し用）
交流の家	・白杖88本 ・車イス10台

5 引率者の役割

活動内容	役割
車イス、目かくし歩行	・スタート、ゴール地点で全体を総括する ・コースを巡回し、安全管理を行う
点字、手話	・特になし

6 交流の家職員の役割

- ・白杖体験と車イス体験の全体説明と活動のまとめを行います。
- ・物品の貸し出しを行います。

7 指導の依頼について

- ・点字、手話の活動は、外部指導員の依頼が必要です。
- ・利用申込書と一緒に「指導依頼申込書」（ホームページ上に掲載）を提出してください。
- ・指導料は、点字・手話それぞれ講師1名につき7,700円（1時間30分）です。
- ・活動終了後に現金、コンビニ支払い又は銀行振り込みのいずれかで支払いをしてください。

8 活動の流れ（例）

(1) 車イス

活動の流れ	内 容
事前準備	・車イスの貸出
集 合	・利用者玄関付近に集合
活 動	・説明 ・体験 【コース例】 ピロティ→玄関外（スロープ）→エレベーター→障害者用トイレ →ピロティ ・ふりかえり
終 了	・終了後、物品返却 等

(2) 目かくし歩行

活動の流れ	内 容
事前準備	・白杖の貸出
集 合	・ホール（研修室）に集合
活 動	・説明 ・体験 【コース例】 3階研修室→3階廊下→音楽研修室前階段→1階廊下→ホール側階段 →3階研修室 ・ふりかえり
終 了	・終了後、物品返却 等

(3) 点字

活動の流れ	内 容
事前準備	・簡易点字器の貸出
集 合	・研修室に集合
活 動	・説明、体験、ふりかえり
終 了	・終了後、物品返却 等

(4) 手話

活動の流れ	内 容
集 合	・研修室に集合
活 動	・説明、体験、ふりかえり
終 了	・終了後、物品返却 等

9 実施上の留意点

- (1) 館内では走り回ったり大声を出したりするなど、他団体の研修の迷惑にならないように指導してください。
- (2) 荒天によって屋外活動ができなくなった場合の代替りのプログラムとしては選択できません。